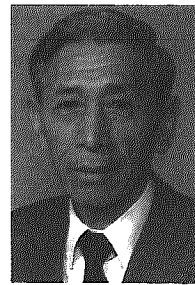


「協調と融和」を基本
としたまちづくり



浅妻町長

（前略）平成六年度国家予算は長引く景気の低迷により前年とほぼ同額の抑制型予算となっており、税収不足に伴い国債の発行が多く計上されており。また、大型所得税・住民税減税が盛り込まれているほか、地方交付税も憂慮される所であり。本町におきましても前年度末、町債残高が五十億三千八百万円を超える厳しい財政状況であります。私は町民の要望に的確に対応するため、国・県事業の積極的導入を図り、国・県との連携を保ちつつ町政を進めて行く所存であります。本町の新年度予算編成と致しましては、国同様極力経常経費の節減合理化に努め、厳しく抑制するとともに、国・県の補助金及び地方債を積極的に活用し、本町のおかれた立場や条件等を十分に反映すべく独自の施策を行政全般にわたってきめ細かく展開し、広範囲に推進することとした次第であります。昨年は平成大橋が完成し、北陸自動車道の延伸工事及び黒埼北部土地区画整理事業等、工事最盛期を迎え

ており本町の情勢も大きく変わろうとしております。／（中略）町政執行の基本姿勢といたしましては、基本的な人権を尊重して「協調と融和」を基本として、町民との対話を進め、町民すべからず住んでほかれる町、心豊かな隣人愛に満ちた緑と潤いのある「まち」づくりの実現に向かって渾身の努力をいたす所存であります。／新潟市との合併問題につきましては（中略）議会並びに町民の意向を尊重しながら推進して参る所存であります。／モーターボート競走舟券場外売場設置の是非につきましては（中略）三月一日の答申を吟味し、目下その対応について検討しているところでございます。／町の総合計画につきましては、（中略）第三次総合計画の見直しを含め新しく第四次総合計画を策定することといたしました。／都市計画につきましては、都市計画法の一部改正により住居系用途地域が細分化されたことから今年度から見直し作業に着手したいと考えております。／（中略）私が常に提唱しております。一 健康で心のふれ合う福祉社会の実現。二 快適とやすらぎを与える生活環境の整備と充実。三 活力に満ちた農工商業の振興と産業基盤の整備。四 教育、文化、スポーツの振興と施設の整備充実。を基本方針として財源の重点的かつ効率的配分を行った次第であります。三月議会町長施政方針より（抜粋）

人件費16億3729万円

総務費 18億3335万1千円

（+2437万円）
総務費は、予算総額の28.2%を占めます。大半は人件費で16億3729万円。特別職等の報酬などを近隣市町村の動向などを考慮して改定します。
町史編さん事業は監修者を新大教授にお願いし、執筆者も委嘱し、本格的な編集作業に入っています。今年度は近世編を刊行する予定です。
交通安全では関係団体の育成や交通安全教室等を通じて、交通安全思想の啓蒙普及に努めます。
・特別職（町長、助役、収入役）給料 2235万6千円
・教育長給料 590万4千円
・職員給料（213人分）7億9027万3千円
・職員手当等 4億7878万円
・共済費 3億2162万1千円
・町長交際費 339万9千円
・町史編さん費 2372万8千円
・広報等の印刷製本費 642万7千円
・交通安全対策費 1371万2千円
・自治会長委託料 584万6千円
・広域行政対策費 592万9千円
・徴税費 3946万8千円
・戸籍住民基本台帳費 1010万円
・選挙費 142万4千円
・統計調査費 248万1千円
・監査委員会費 180万3千円

保健センター及び国保健康
づくりセンターを建設

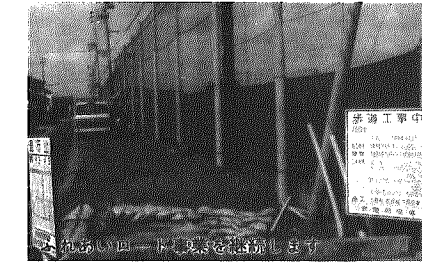
衛生費 12億9423万9千円

（+7億8496万1千円）
五年目を迎える女性の健康づくり事業などの健康づくり、健康診査などの実効ある保健事業を積極的に推進します。健康まつりの開催、保健衛生だより、健康カレンダーを作成配布し健康に関する正しい知識の普及により「自らの健康は自ら守る」という健康意識を高めます。また、長年の要望である保健センター及び国民健康保険健康づくりセンターを建設し、良質な健康づくりを推進します。環境衛生ではごみの適正処理並びに再資源化事業として生ごみ処理器、古紙回収補助事業を推進します。水環境の改善と公共水域の水質保全を図るため生活排水対策推進計画の促進に努めます。
・保健センター及び国保健康づくりセンター建設事業費 6億8576万9千円
・ごみ収集委託料 5529万円
・新潟地区広域清掃事務組合負担金 2億7901万円
・古紙集団回収事業助成金 50万円
・精神障害者医療扶助費 261万6千円
・高額療養費資金貸付金繰出金 400万円
・母子衛生費 1518万3千円
・予防費（検診委託等） 2650万4千円

ふれあいロード事業を継続実施

土木費 10億2877万8千円

（-6億5522万7千円）
道路整備では引き続き町道山田、立仏2号線、済生会病院線の2路線を国庫補助事業で整備します。また、善久寺地線脇排水路については、地域総合整備事業のふれあいロード事業として工事を継続します。町単独では幹線町道の川前、板井村中線の整備ほか補修工事も従来通り実施していきます。新潟地域大外環状道路は事業化に向け構成8市町村で積極的に取り組んでいきます。
開発では、黒埼北部土地区画整理組合事業の助成を昨年度同様に行います。都市排水路整備も要望か所について計画的に進めて行きます。
公園緑地の整備は、河川敷公園の概成により案内板の設置工事やゲートボール場の工事を実施します。緑化事業については、補助事業として立仏小学校に植栽工事を行い、単独事業では川原ゲートボール場に植栽工事を行います。また、町内居住者を対象に生垣設置奨励事業を実施し、快適な住環境の整備に努めます。
・町道改良舗装工事及びふれあいロード環境整備事業費 5億717万円
・町道改良物件補償費 1440万円
・黒埼北部土地区画整理事業補助金 2億円
・下水道事業特別会計繰出金 9917万8千円
・都市下水路費 3143万7千円
・公園事業費 3996万3千円



「くろさき福祉プラン21」
を策定
福祉行政の指針として
充実に努める

民生費 6億6571万3千円

（+1億8471万円）
急速な高齢化社会の進展に対応するため「くろさき福祉プラン21」を策定し福祉行政の指針として充実に努めます。在宅福祉対策としてホームヘルプサービス、デイサービス事業を事務委託している社会福祉協議会の職員を増員し、またリフト車を増車して充実に努めます。老人福祉対策は郡北六か町村による特別養護老人ホーム「虹の里」を建設します。児童福祉では乳児保育、障害児保育等の特別保育に取り組み、寺地保育所の大規模修繕を行います。
・社会福祉協議会補助金 756万6千円
・老人福祉総務費 2億4466万3千円
・老人ホーム入所委託料264万9千円
・ホームヘルプサービス事業委託料1365万7千円、デイサービス事業委託料1755万6千円、在宅高齢者日常生活支援事業委託料108万8千円、特別養護老人ホーム建設負担金1億2698万7千円、老人日常生活用具給付助成費289万3千円など
・国民年金事務費 2723万4千円
・障害福祉費 3120万5千円
・児童福祉費 3億336万円
・児童措置費6428万1千円、黒鳥保育園委託措置費3842万8千円、保育所改修及び寺地保育所大規模修繕工事費8519万2千円、保育用品代142万円、私立保育園補助金613万5千円など

木場小学校屋内運動場大規模改造などの施設改善や
「黒埼町ふれあい教育センター」を設置します。

教育費 4億5219万3千円

（-3552万8千円）
学校教育では「黒埼町ふれあい教育センター」を設置し、中学生を中心とした学校になじめない児童、生徒の相談、指導や青少年の問題に関する調査、研究の事業を行い、登校拒否を中心とした教育相談の充実に努めるほか木場小学校屋内運動場大規模改造など施設改善を行います。社会教育では、生涯学習を重点施策として各種講座など一人でも多くの町民が参加できるよう拡充強化を図ります。今年度は北部地区公民館が開館して十周年にあたることから記念事業として講演会並びに音楽会を開催します。文化事業でも当町出身の漫画家小林まことさんなどの展示会を開催し、町の文化向上に資し



ていきます。
・教育委員会費 1722万5千円
・ふれあい教育センター建設事業費 3633万円
・小学校費 1億6978万9千円
（うち学校建設事業費 7065万円）
・中学校費 1億1376万8千円
・社会教育総務費 964万5千円
・公民館費 1792万3千円
・文化財保護費 477万7千円
・青少年問題対策費 421万1千円
・図書館費 1090万9千円
（図書購入費 335万8千円）
・保健体育総務費 1059万2千円
・社会体育費 2139万9千円
・学校給食費 3562万5千円